

第19回日本抗加齢医学会総会 ランチョンセミナー(LS-2)

# 抗加齢治療における鉛測定の有用性 ～キレーション治療への新しいアプローチ～

2019年6月14日(金) 12:20～13:10 第3会場(パシフィコ横浜 会議センター3F「301」)

## 座長

慶應義塾大学 医学部 眼科学教室

教授

坪田 一男 先生

## 演者

満尾クリニック

院長

満尾 正 先生

※本ランチョンセミナーは整理券制となります。  
配布日時：6月14日(金) 8:00～12:00(無くなり次第終了)  
配布場所：パシフィコ横浜 3F フォワイエ(315前)  
当日、会場内に設置される整理券発券機にてお受け取りください。  
詳細事項は、裏面をご確認ください。

## 抗加齢治療における鉛測定の有用性 ～キレーション治療への新しいアプローチ～

満尾クリニック 院長

満尾 正 先生

健康状態を維持するためには、必要な栄養素を補給することと同じく、不要で毒性のあるものを体外へ排泄することも同様に重要である。汚染された環境に居住している現代人は様々な有害金属の影響を受けている。中でも、鉛、水銀、カドミウム、ヒ素は重篤な健康被害をもたらすことが知られており、これらの体内蓄積量を知り効率的に体外への排出を促すことは、抗加齢医療において極めて重要な課題である。

2002年から約10年に渡り、米国で実施されたキレーション治療を評価する臨床試験では、キレーション治療に心筋梗塞再発予防効果があることが確認された。そのメカニズムとして、鉛やカドミウムという有害金属の排泄を促進することで、体内の酸化ストレスを軽減したことが考えられている。このように有害金属の排泄を促進することは健康維持のために重要な手段と言える。

有害金属の体内蓄積量を測定する最も信頼性の高い検査方法は、キレート剤投与後に尿中に排泄される金属量を測定するものである。今回我々は、アークレイ社の尿中有害金属自動分析装置 SillBe を用いて、EDTAによる当院外来患者の鉛排泄量を調べた。この測定器は短時間で測定結果が得られる小型の器械であり、クリニック内での利用が可能である。本講演では本機を利用した測定結果の紹介を実際の症例に基づき報告する予定である。

### 第19回日本抗加齢医学会総会 ランチョンセミナー (LS-2) 2019年6月14日 (金) 12:20~13:10 第3会場 (パシフィコ横浜 会議センター3F「301」)

#### ■ランチョンセミナーに関する詳細事項

1. 整理券の発行にはネームカードが必要です。おひとり様一枚限り、開催当日分のみ発行となります。
2. 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。
3. 配布時間終了後、整理券が残っている場合は各セミナー会場前で配布します。
4. 整理券はセミナー開始5分後に無効となります。
5. 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただきます。
6. 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況によりご入場いただける場合があります。

### 尿中有害金属のオンサイト測定をついに実現 水銀と鉛の濃度を簡単操作で測定

尿中有害金属自動分析装置

# SillBe

LB-5410 | 重金属



※本装置は研究用機器です。  
本機器の測定結果を疾病の診断またはその補助を目的として使用することはできません。

アークレイ展示ブースにて、実際の装置をご覧いただけます！  
ぜひ、展示ブースにもご来場ください。  
展示ブース：パシフィコ横浜 展示ホール A ブース No.100

### 明日からの診療に活かせる アンチエイジングドクターのための情報ブログ



アンチエイジングクリニックを経営する先生方へ  
クリニックの経営に役立つ情報を発信します！

<http://arkrayantiaging.com/>

こちらから  
サイトへアクセス！

